

領域プロジェクト名称	大学発の技術シーズと社会課題とのマッチング
担当教員	坂田一郎教授
プロジェクトの狙い	今日、例えば、太陽電池、燃料電池、有機材料、ロボットなど、経済の成長と社会課題の解決を担う多くの技術シーズが大学から生まれるようになってきている。一方、大学発の革新的技術の理解は難しく、その産業移転や大学発技術と適用すべき社会課題（サステナビリティ、超高齢化社会の克服等の領域）との橋渡しには、依然として大きな壁が存在している。そこで、情報工学的技法を用いて、有望な学術研究とその適用が潜在的に期待される社会課題群とを半自動で結び付ける手法の研究を行い、学術知識を用いた社会課題の解決に貢献する。 また、プロジェクトを通じて、データサイエンス（数学、統計、ネットワーク分析、最適化等）の手法について、実践的な学習を行い、理解を深める。
プロジェクトの内容	必要なデータサイエンスの技法について追加的な学習を行った上で、実際に、学術論文・特許のビッグデータを用いて、有望な学術研究と潜在的にその適用が期待される社会課題とを半自動的に結びつける手法を研究する。また、当該手法を適用した結果の評価のため、経済産業省や企業等へのヒアリングも実施する。
プロジェクト開催場所	工学3号館オフィス（201号～203号室他）
プロジェクト計画	週1～2回程度のミーティング（うち1回は定例曜日）をベースとして、研究を進めます。複数分野の専門教員（ウェブ・人工知能、経済学、イノベーション学、エネルギー）等の参加を得てチームで企画を練りつつ、学生が独自の提案・提言をしていくことを目指します。プロジェクト設計と基礎的技法の追加学習、データ解析、結果評価・考察の順でプロジェクトを進めます。
ホームページ	http://ipr-ctr.t.u-tokyo.ac.jp/sklab/member.html （技術経営戦略学専攻 坂田・森研究室）